

事務事業名	子育て・定住に関する情報発信事業	所属部	政策企画部	所属課	情報政策課	
総合計画体系	政策名	(I)みんなで築くまち《協働・行政経営》	所属G	情報政策G	課長名	三原修三
	施策名	(02)移住・交流の推進	担当者名	松蔭佳子	電話番号	0854-40-1015
	目的	対象 市外の人・市民 意図 雲南市を好きになり、移住・定住してもらう。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 0 0 1 項 目 中事業 中事業名 0 5 1 5 0 3	(内線)	3522
	基本事業名	(005)移住に向けた魅力の発信と交流の促進				広報活動事業 ホームページ運営事業
目的	対象 市外の人・市民 意図 雲南市の魅力を知ってもらう。					

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (27年度～31年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
雲南市の暮らしや子育て情報、移住・定住に関する情報をホームページや市報を活用し情報発信を行う。 また、子育て世代や首都圏在住の若者へ、雲南市子育てポータルサイト「ゆっくり、子育て。雲南市」や若者サイト「これから。Unnan」を開設。子育てに関する情報を積極的に情報発信するほか、雲南市での暮らしについてイメージできる動画や、雲南市の生活コストを試算できるシミュレーションなどを活用することにより、雲南市へ移住・定住するきっかけづくりを行う。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	27年度実績(27年度に行った主な活動)	28年度計画(28年度に計画する主な活動)			
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	ア 市報掲載(特集)	回	-	-	6	6
	イ 子育てサイト掲載	回	-	-	305	500
	ウ SNS掲載	回	-	-	60	60
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
	・市民 ・市外の人		ア ホームページアクセス件数	件	400,070	402,129	416,015	420,000
			イ 子育てサイトアクセス件数	件	-	-	46,520	50,000
			ウ 若者サイトアクセス件数	件	-	-	3,016	5,000
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)		
・子育て、移住定住に関する情報を積極的に提供し、市民の理解を得るとともに移住・定住希望者へ雲南市の魅力を伝える。	ア 保育料シミュレーション実施回数	回	-	-	3,789	4,000		
	イ 生活コストシミュレーション実施回数	回	-	-	567	600		
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
子育てポータルサイト開設 1,617千円 同 管理委託 341千円 若者サイト開設・アプリ開設 5,994千円	財源内訳	国庫支出金	千円			5,994
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
	一般財源	千円			1,958	454
	事業費計(A)	千円			7,952	454
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	
		延べ業務時間	時間	560	560	
		人件費計(B)	千円	2,180	2,177	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,180	2,177	7,952

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
インターネットの普及率やスマートフォンの保有率は増加する傾向にあり、ウェブを活用した情報発信の必要性が高まっている。また、他自治体との差別化を図るため、雲南市独自のUIターン者や子育て世帯への支援施策をPRする必要がある。	・ターゲットを絞った専用サイトを開設し、積極的に情報発信を行う。 ・情報を簡単に入手できるようにスマートフォン・タブレット向け「雲南市公式アプリ」を開発し情報提供を行う。	・「住まい」に関する情報をもっとサイト内で目立つようにPRすべき。 ・市ホームページから目的のサイトを探しやすくするためエントランスページを追加すべき。

事務事業名	子育て・定住に関する情報発信事業	所属部	政策企画部	所属課	情報政策課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	・若者や子育て世代へのアンケート調査等を実施し、求められる情報や行政支援などをリサーチする。 ・各サイトのアクセス解析を行い、見てもらうためのSEO(検索エンジン最適化)などの新たな対策が必要。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	・インターネットによる情報収集ができなくなる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	理由		雲南市ホームページとの統合は可能であるが、検索性・利便性を高めるためには別サイトでの情報発信の方がよりターゲットへ届くよう発信できる。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		事業費の内訳はシステム保守経費とコンテンツ追加と修正であり、削減する余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	・外部委託や正規職員以外の雇用	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		・提供されるサービスは、インターネットに接続する環境があれば、誰でも享受することのできるサービスである。
	① 1次評価者としての評価結果			② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
評価 の 総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・若者、子育て世代のインターネット利用率は9割を超えることから、雲南市の魅力を発信する方法として、ホームページは有効なツールである。今後は各サイトを周知するほかサイト内の情報提供の充実を図る必要がある。また、各担当課での作業は情報量のバラつきがあるため、情報発信専門スタッフを設置や外部委託などコストを抑えた運営の仕方も考える必要がある。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上		●																		
	維持		×																		
	低下	×	×																		
<ul style="list-style-type: none"> 各サイトの周知 各サイトの分析・検証 子育て世代への情報ニーズの把握 情報に対する職員の重要性の認識向上及び共有化 		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			